

一般質問

15人の議員が38項目の質問を行い、町長の考えをいただきました。

佐中 十九昭 議員
役場移転

Q JR高架事業を早く進めよ

A 仮庁舎への移転で計画を策定

【質問（議員）】 庁舎は、一時、県の海田庁舎を借りるかブレハブで良い。JR高架事業を早く進めることが住民サービスにつながる。

【答弁（町長）】 平成二十五年度に予定されている連続立体交差事業の着手までの新庁舎移転は難しい。今後仮庁舎への移転に向けて具体的な計画を策定する。

Q 若者の就労対策を

A 情報提供を支援する

【質問（議員）】 卒業後の就職難を応援する町政は。

【答弁（町長）】 若者の雇用と労働条件の深刻さは認識している。雇用・就労関係の情報提供を積極的に支援する。

Q 焼却場の早期解体を

A 平成二十四年度に解体予定

【質問（議員）】 環境センター焼却炉棟の早期解体を。

【答弁（町長）】 有害物質は、平成十四年の稼働時の測定で基準をクリアしている。平成二十三年度で調査・設計を行い、平成二十四年度に焼却施設を解体する。



早期解体が求められる焼却炉

Q 大雨災害時は垂直避難を

A 状況に応じた避難方法を研究する

質問（議員）

大雨災害が予想される場合、公共施設への移動のような水平避難だけでなく、自宅や隣接建物の二階以上へ緊急的に一時避難する垂直避難を取り入れはどうか。

答弁（町長）

指定避難場所に避難するいとまがない場合、緊急的、一時的に自宅の二階や近隣の高層建物に避難することも必要と認識しており、今後状況に応じた

避難方法を研究する。

Q 民間施設を指定避難場所に

A 協定の締結等に努める

質問（議員）

大雨災害時には、民間施設を避難所にしてはどうか。

答弁（町長）

民間施設も災害時に避難場所として使用できるよう、協定の締結等に努める。

その他の質問

- 災害時要援護者対策について
- 雨水浸透施設の設置について



増水した瀬野川

住吉 秀公 議員
災害対策

Q 健全なる長期計画を

A 厳しいが耐震化と延命化を進める

【質問（議員）】 収支見通しと基盤整備は。

【質問（議員）】 他企業からの水の購入は。

【答弁（町長）】 収支バランスを考慮し財政計画を策定するが、厳しい状況が予測される。耐震補強計画は耐震二次診断の結果をもとに策定する。延命化は各施設の耐用年数を考慮し施設整備計画を策定する。

【答弁（町長）】 瀬野川からの取水量がある限り、町独自のおいしい水を安価で供給できるようにする。

質問（議員）

経営の健全計画は。

【答弁（町長）】 今年は石原、来年は国信の配水池の耐震診断を実施し、その後、大規模な改修工事を盛り込んだ財政健全化計画を策定する。（写真）

- その他の質問
- 総合公園と隣接する里山の活用拡大を
 - 構造改革特区の活用を
 - クラウドコンピューティングの導入を



耐震診断中の石原配水池



子宮頸がんワクチン

多田 雄一 議員
子宮頸がん対策

Q 小学校六年女子に予防ワクチン接種を

A 国の制度を補完するよう検討する

質問（議員）

子宮頸がんは乳がんに次いで死亡率が高く、日本でも一日平均十人が亡くなっている。原因はヒトパピローマウイルスに感染することなので、ワクチン接種により予防が可能な唯一のがんでもある。小学六年生全員に接種をしてはどうか。また、その費用を助成してはどうか。

【答弁（町長）】 国が二十三年度予算で助成を検討しているので、町として国の制度を補完する制度を検討する。

【答弁（福祉保健部長）】 小学六年生を対象とした集団接種は難しい。

【質問（議員）】 検診を受けることも有効な予防手段であるが、率は低い。また、認知度も低いのが実情である。具体的にどの年代に助成する考えなのか。

【答弁（副町長）】 国は小学六年生から高校二年生ぐらいを対象にと考えているようなので、今後の動向を注視して検討を進める。

その他の質問

- 子ども・若者育成支援推進法による、若者支援地域協議会の設立について

Q カーブミラー設置補助制度を

A 課題が多く困難

質問（議員） 危険と判断する設置要望に応えられないのはなぜか。設置基準はどうなのか。設置要望が多いなか、要望する箇所に對し補助すればいかがか。カーブミラー設置補助要綱を定めてはどうか。

答弁（町長） 課題が多く補助制度は困難だが、町民のみなさまに理解をいただけるような形でカーブミラーの設置を心がけていきたい。

Q 福祉センタープールの換気状況

A 改善ができるかどうか検討

質問（議員） 屋内に風が通らない構造のため、特に夏場は熱がこもり息苦しい。窓を設置して風通しを良くしてみてもどうか。

答弁（福祉課長） 改善ができるかどうか検討していく。



室温高くて窓はなし

兼山 益大 議員 安全なまちづくり

Q 瀬野川中洲の対応は

A 浚渫が計画されている

質問（議員） 大雨時の瀬野川、特に中洲の対応はどうか。（写真）

答弁（町長） 瀬野川は計画雨量に對応できる断面を確保している。河川管理者から回答を得ている。大雨時には瀬野川に設置されている水位計のデータや職員によるパトロールなどで状況を的確に把握し、適切に對應する。中洲への対応は西部建設事務所が来年度に浚渫を計画している。

Q 浸水対策はどうか

A 計画に沿って進める

質問（議員） 町内の浸水対策はどのように進めているか。

答弁（町長） 雨水整備計画の優先順位が高く、浸水が起こっている地区を重点的に整備する。今後も計画に沿って順次進める。

その他の質問

- ふれあいバスについて
- 道路改良事業について



大雨の瀬野川

崎本 広美 議員 水害対策

Q 今後の打開策は

A 本会議終了後基本計画を発注

質問（議員） 庁舎の移転先は町長と議会が平行線をたどっているが、今後の打開策は。

答弁（町長） 昨年六月に町執行部として新庁舎建設候補地を「海田市駅南口東街区」に一本化すると表明してから、すでに一年以上が経過した。この間、庁舎建設特別委員会などで、考え方を繰り返し説明したが、今なお候補地の決定には至っていない。しかし、庁舎の移転期限を考慮すると、もはやこれ以上候補地の

選定に時間をかけることは許されない。

今後は、一刻も早く設計に着手し、建物の配置や規模などの具体的な建設プランを議員の皆様に対し、誤解や懸念材料の解消に努めることこそが、現在のこう着状態を打開する唯一の策であると考えている。したがって、予算は既に認められているので、本会議終了後直ちに、「新庁舎建設基本計画策定業務」を発注したいと考えている。



どこにいくのか

原田 幸治 議員 役場庁舎の移転

Q 二台運行体制を

A 多額の費用がかかるので困難

質問（議員） 町内のどこからでも商業施設・医療機関の集中する町中心部へ直接行くことができるように、府中町・坂町と同様、二台運行体制をとる考えはないか。

答弁（町長・副町長） 多額の費用がかかるので、その考えはないが、利用者数を減少させない方策を実施する。

Q 下水道未普及地区への対応は

A 一日も早い完成を目指す

質問（議員） 完成が遅れてきているが、縁辺部には低コストかつ早期完成可能な市町村設置型の合併浄化槽方式を採用してはどうか。

答弁（副町長） 本町は市街化区域全域を公共下水道で整備する方針であることに変わりはない。



買物・通院に便利だといいネ

下岡 憲国 議員 循環バス

桑原 公治 議員
防災対策

Q 災害時の要援護者対策は

A 一日も早い制度策定に向けて努力する

【質問（議員）】災害時要援護者対策は喫緊の課題であり、来年度以降の計画策定では遅すぎるので、早急に取り組む必要があると考えます。どうか。

【答弁（町長）】災害時要援護者避難支援対策は、地域の高齢化や災害の多様化に対応するため、早急に取り組むべき課題であると認識している。今後、一日も早い制度策定に向け努力する。

Q 子宮頸がん予防接種の町独自助成制度創設を

A 検討を進める

【質問（議員）】子宮頸がん予防ワクチンの国の助成制度に先駆けて、町独自の助成制度を設ける考えはないか。

【答弁（副町長）】対象者に公費で接種できる定期予防接種としての位置づけが必要と考えている。町としても国の制度を補完できる独自制度の検討を進める。



災害は待ってくれない



皆さん、聞こえますか

大江 康子 議員
町内放送

Q 難聴地域の対策は

A 町民からの情報を得て個別に対応

【質問（議員）】「町内放送が以前より聞こえにくくなった」との声を広範囲の町民より聞くが、対策はどうしているか。また住民参加型の試験放送を実施し、少しでも難聴地域の解消を図ってはどうか。

【答弁（町長）】地元や町民の情報をもとに個別に音量調整などを実施することに対応している。住民参加型ではなく現在は、個別の情報をもとに適宜調整をしていきたい。

【質問（議員）】国道筋などのまったく聞こえない地域こそ個別受信機が必要ではないか。

【答弁（総務部長）】個別受信機よりも防災ラジオの方が安価なので、提案し検討していきたい。

【質問（議員）】七月の大雨の日の登校中止の放送はすべきではなかったか。

【答弁（町長）】今後は自宅待機の場合にあっても放送を実施する。

- その他の質問
- 里道の管理等について
 - コミュニティバスの変更案について

岡田 良訓 議員
都市計画税

Q 導入はするのか

A 当面はしない

【質問（議員）】第四次海田町総合計画素案に、大規模な都市計画に対応できる財政基盤を構築するとして都市計画税の導入を検討とあるが、大規模な都市計画とは何か。

大規模な都市計画でなくても住民参加のまちづくりなら、増税なしでできるのではないかと。

【答弁（町長）】都市計画事業として、駅南口土地区画整理事業や連続立体交差事業などがある。都市計

画税は、将来的な検討課題と認識しているが当面導入の考えはない。

Q 入院費助成の延長の時期は

A 来年四月から

【質問（議員）】町独自の入院費助成を小学校六年生から中学校三年生までに延長するのはいつからか。

【答弁（町長）】平成二十三年四月から実施。

- その他の質問
- 病児、病後児保育事業について



完成後の海田市駅付近

宗像 啓之 議員
浸水対策

Q 海田東公民館付近の浸水対策は

A 早期実現を目指す

【質問（議員）】七月十四日の大雨では、海田東公民館付近の道路の冠水がひどく、通行止めを行った。抜本的な対策が必要ではないか。

【答弁（町長）】雨水計画を変更する業務を発注している。この結果を基に対策を進める。

【質問（議員）】具体的にどのような進めるのか。

【答弁（水道課長）】平成二十三年度に計画の決定、二十四年度に工事を行ういたい。

【質問（議員）】三迫川や唐谷川の護岸は、石積の裏側が空洞になっていて、今までも崩壊が何回か起きている。崩壊を防ぐため、対策は講じているところもあるが、未施工部分が多くある。災害防止のための対策が必要ではないか。

【答弁（町長）】県と連絡を密にとり、護岸の不良箇所の早期発見、早期対応により災害の未然防止に取り組んでいきたい。

災害でした



議会の動き

議会、委員会、協議会、調査等

6月定例会以後(平成22年6月8日～平成22年9月6日)の議会の本会議、委員会、協議会、調査等について紹介します。

6/9	議会だより編集②(広報)
6/14	小学校運動会(海小、東小、南小) 議会だより編集③(広報)
6/17	議会だより編集④(広報)
6/21	議会だより編集⑤(広報)
6/22	子育て支援事業の取組状況について(福祉厚生)
6/30	反核平和の火りレー来庁(議長)
7/1	議会だより第81号の発行 安芸郡町議会議員交流会
7/5	三次市議会基本条例、北広島町議会議中継システムの調査(議会改革)
7/14	カイトひまわり畑チャリティコンサート&ひまわり通りE.C.O事業交流会(議長)
7/21	循環バスに係る新聞報道について、新たな高齢者医療制度に係る公聴会について(全協)
7/22～23	熊本県宇土市と佐賀県佐賀市視察研修(総務文教)
7/27	介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書案について(福祉厚生)
7/28～29	やの・くにくさ及びダーラナやの・くにくさでの小規模多機能型居宅介護事業とグループホーム事業の取り組み概要、くまの・みらい保育園での乳児保育事業及び病後児保育事業の概要調査(福祉厚生)
7/29	福岡県飯塚市と北九州市視察研修(建設産業)
8/1	海田高等学校財産組合議会(議長)
8/3	社団法人シルバー人材センター要望活動(議長) 坂町制施行60周年記念式典(議長)
8/4	9月定例会について(議会運営)
8/7	環境センター焼却炉棟の現状について(総務文教)
8/9	2010年原水爆禁止国民平和大行進来庁(議長)
8/10	広島県中央地域振興対策協議会総会(議長)
8/25	海田市駐屯地創立60周年記念祝賀会及び夏祭り行事(議長)
8/26	第4次総合計画基本計画(部門別計画)素案について、町内循環コミュニティバスの変更案について、海田総合公園指定管理者制度の継続について(全協)
8/27	7月13日から14日に発生した大雨の被害状況について(災害対策)
9/2	環境センター焼却炉棟の早期解体を求める決議案について(総務文教)
9/3	海田町食育推進計画の概要について、地域包括支援センターの運営状況について、介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書案について(福祉厚生)
	9月定例会について(議会運営)
	土地区画整理事業の進捗状況と今後の計画について、橋りょうの点検結果について(建設産業)
	広島県市町トップセミナー(議長)
	県内町議会議員研修会
	第4次総合計画基本計画(部門別計画)素案について、介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書案について(全協)
	議会だより編集①(広報)

※委員会や協議会などの名称は、次の略称で掲載しています。
 総務文教委員会…(総務文教) 庁舎建設特別委員会…(庁舎建設)
 福祉厚生委員会…(福祉厚生) 議会改革特別委員会…(議会改革)
 建設産業委員会…(建設産業) 災害防止対策等調査特別委員会…(災害対策)
 議会運営委員会…(議会運営) 全員協議会…(全協)
 議会広報広聴調査特別委員会…(広報) 議長出席…(議長)

一般質問

前田 勝男 議員

成年後見制度

A

今後要請があれば考える

Q 町条例として町民を保護しないか

質問(議員) 町が成年後見人となり、知的障害者や独り暮らしの人を保護することを目的とした条例を作らないか。
 答弁(町長・副町長) 成年後見人は、後見人が必要とする人の心身状態や生活・財産の状況などの事情を考慮して家庭裁判所が選任する。条例化は非常に難しいが、後見人が必要とする人から、直接町に相談があれば対応する。

Q 町長の危機管理は
 A 災害発生は予見されなかった
 質問(議員) 七月十三日に、新任職員と熊野町にて会食をしているが、大雨警報発令中であり、町民の安全が守れるのか。
 答弁(町長) 大雨警報発令中ではあったが、新任職員も役場の仕事に慣れてきた時期であり、直接話をする場を作った。災害の発生は予見されなかったもので会食を行った。部課長で誰一人も中止を求める者もいなかった。

その他の質問

- 循環バスについて
- 防災無線(放送)について
- 高齢者の生存確認について



成年後見制度のお問合せは福祉課まで

一般質問

渡辺 善隆 議員

AED設置場所

A

町単独では効果的でない

Q 検索システムの導入を

質問(議員) 救命活動はスピードが重要である。いざという時にGPS機能付き携帯電話で、直ちに最寄のAED設置場所を見つけて検索システムを導入してはどうか。
 答弁(町長) 検索システムは、複数の自治体が共同で広域的に行うことが有効で、町単独での導入は効果的でない。広域で行う状況になれば検討したい。

Q 今後の大雨対策は
 A 治水整備を行う
 質問(議員) 曾田、国信一丁目、寺迫二丁目地域は、たびたび道路冠水が発生しているが、今後の対策は。
 答弁(建設部長) 一時間当たり、五十ミリの降雨量に対応する治水整備を行う。



近くのAEDはどこ？



よくわかる授業に

西山 勝子 議員

妊婦健診の継続

A

来年から十四回の受診を

Q 来年から十四回の受診を

質問(議員) 妊婦の人が健診費用の心配をせずに十四回受診できる制度が本年度までとなっているが、来年度以降も継続する考えはないか。
 答弁(町長) 十四回の妊婦健診については、国の助成制度の延長について、県に要望をしている。
 答弁(福祉保健部長) 重要と認識し、財政状況などを考慮しながら検討をしていく。

Q 電子黒板を活用しての授業を
 A 人的環境を整え、配備する
 質問(議員) 来年度から小学校において、外国語授業がスタートするが、各小・中学校に電子黒板を何台ずつ整備していくのか。
 答弁(教育長) 教師の研修や実践交流を重ね、電子黒板機能などの物的環境の配備をする。

その他の質問

- 県の事務の権限移譲について